

# 定量的PM事例研究会活動の紹介 と 社外活動の心得

2015年12月19日

定量的PM事例研究会  
代表 杉原 秀保, PMP

1. 定量的 P M 事例研究会活動について
2. 私の社外活動内容のご紹介
3. グロービス ビジネススクール
  
4. 社外活動の目的
5. 苦勞した点
6. 良かった点（活動メリット）
7. 社外活動を楽しむ為の心得

【テーマ】 定量的プロジェクトマネジメンに関する事例研究

【目 標】 プロジェクトマネジメントの課題と対策をノウハウに纏め、研究成果を公表する

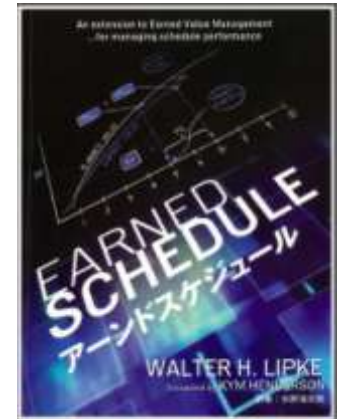
## 【活動内容】

- ① 定量的データが計測されているPJ事例の収集
- ② プロジェクトマネジメントにデータを活用する上での問題点を議論し課題を明確化
- ③ 参加メンバーの経験を元に課題の対策ノウハウを纏め、対外的に発信

活動計画	担当	15/01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12
メンバー募集(通年)	杉原	----->											----->
目標・計画策定	全員	—————▼2/19											
定例会開催	杉原		▼2/19	▼3/19	▼4/23	▼5/23	▼6/20	▼7/17	▼8/22	▼9/19	▼10/6	▼11/17	
PJ事例の調査・収集	全員	.....>											.....>
ES翻訳本の調査・研究	全員	—————>											—————>
PMI日本フォーラム発表 関西ブランチ成果発表	山田 杉原		—————>					▼7/12					—————>

## 1. アード・スケジュール(ES)についての事例研究

書籍「アードスケジュール」の輪読。 疑問点・質問点は、翻訳者の水野浩太郎氏から解説を受ける



## 2. ソフトウェア開発での重回帰分析による品質予測

成果物:『事例から学ぶ品質予測の実践ガイド』

PMI日本フォーラム2015で成果発表

講演タイトル:ソフトウェア開発での品質予測の事例紹介 その2 ⇒ 特許取得！！

## 3. アード・バリュー・マネジメント(EVM)と品質に関する事例

## 4. 専門人材育成に向けた人材価値の可視化取組み

年月	活動内容
2009年 1月	EVM研究会と定量的PM事例研究会の合同WGとして発足
10月	PMI日本フォーラム成果発表 『ソフトウェア開発にEVMと品質モデルを適用した事例の紹介』
2010年10月	PMI日本フォーラム成果発表 『ソフトウェア開発にアード・スケジュールとモンテカルロ・シミュレーションを適用した事例紹介』
2011年 7月	PMI日本フォーラム成果発表 『実例から学ぶEVMの実践ガイド第2版のご紹介』 (注)
2012年12月	CCPM研究WG発足
2013年 8月	PMI日本フォーラム成果発表 (CCPM研究WG)
2014年 7月	PMI日本フォーラム成果発表 『ソフトウェア開発での品質予測の事例紹介』
2015年 7月	『ソフトウェア開発での品質予測の事例紹介その2』

組織名	活動内容	活動期間
PMI 関西ブランチ 運営委員会	PMI日本支部の配下組織。関西ブランチの5つの研究会と共に関西地区でプロジェクトマネジメントの普及に向けた学びの場やコミュニティを提供。2015年4月から副委員長。	2009年 ~ 現在
PMI 定量的PM事 例研究会	定量的なプロジェクトマネジメント事例の研究・評価という観点からのプロジェクト管理課題や対応策をノウハウに纏める。年2回研究成果をフォーラム等で発表。2015年1月から代表。	2009年 ~ 現在
PMI PM実践研究 会	自身のプロジェクト経験を事例発表し、プロジェクトの背景や課題、対応策を基にディスカッションし、教訓を抽出。毎月2事例を2年間実施。	2007年 ~ 2008年
グロービス ビジネススクール	クリティカルシンキングや人的資源管理・ファイナンス・経営戦略などMBA関連スキル・知識を幅広く習得。	2002年 ~ 2012年

会社で修得する機会に乏しいビジネス系スキル（思考系・人・モノ・金系）は、ビジネススクールへの通学により経営関連スキルを修得。

## （特徴）

- ・ 質の高い講師やカリキュラム
- ・ 志の高い受講生と共に学び研鑽し合える
- ・ クラスでの発言やレポート内容が評価されることで前向きに取り組める

## ○主な受講暦

開講期	プログラム	科目	総合成績
2011年10月期	大学院	人材マネジメント	B
2011年01月期	大学院	経営戦略	A
2010年01月期	GMS(STEP2)	ファイナンス	B
2008年10月期	GMS(STEP2)	マーケティング	A
2007年10月期	GMS(STEP1)	ビジネス定量分析	B
2004年10月期	GMS(STEP2)	アカウンティング	C
2004年04月期	GMS(STEP2)	人的資源管理	C
2003年10月期	GMS(STEP1)	クリティカル・シンキング	A
2002年10月期	GMS(STEP1)	マーケティング・経営戦略基礎	P

## 社外活動の位置付け

- 業務外で他社や他業種の方と交流を持ち、互いの経験や知恵を交換し、学びを得る貴重な場。

## 社外活動の目的

⇒ 詳細は次ページ

①スキルアップ

②人脈作り

③社会貢献

## 結 論

- 社外活動で得たスキル・知恵を業務で発揮し、仕事の質・効率を向上。
- 知らなかった事を知る喜び、できなかつた事が出来るようになる喜び、人との出会いに感謝して“なりたい自分になる” ⇒ 自己実現の手段!



## ①スキルアップ

- 他流試合による研鑽活動で市場価値を向上。（人材市場ポジション把握）
- 他のPM経験から教訓を得る中で、プロジェクトの実践力向上を図る。
- 経営関連ビジネススキル習得により、IT以外のスキルの幅を広げる。

## ②人脈作り

- 他社や他業種の方との交流を通じた人脈形成。 ⇒ 価値感の吸収

## ③社会貢献

- 講演や各種イベント企画・運営等のボランティア活動による社会貢献。
- 自己犠牲／奉仕の精神。  
⇒ 感謝されたり、ポジティブな評価が遣り甲斐に繋がる

### PMI

- ・ PMP 受験（2005年）の際に PMI へ入会し、PMI のホームページで関西初の PM 研究会に入会した事がきっかけ。  
⇒ 実際は知人の紹介（口コミ）による人脈作り目的の入会が多い。

（動機）担当PJCTで教科書どおりに実行しても上手くいかない事があり、上手くマネジメントするヒントを他の参加者から得たかった。

- ・ 資格取得は、基礎知識の習得手段。    社外活動は、実践力の向上手段。

### グロービス

- ・ 上司の推めで大阪から東京（麹町）の学校へ通学したことがきっかけ。

## 苦勞した点

### 【グロービス】

- 予習や事前課題（シラバス、レポート提出）等の受講前準備時間を確保する為に 徹夜が頻発。


### 【PMI】

- PMIフォーラム等のイベントは、休日に終日開催される事もあり、プライベートな娯楽時間は少なくなる。自身が講演者の時は更に大変。


## それでもやる意義とは

- 社外活動は、より多くの資源（時間・金）を投下し、真摯に向きあった方が得るもの（スキル・人脈・達成感等）も大きい。

## 仕事との両立方法

- 業務と社外活動の両立を図る上で、悩ましいのが時間管理。
  - 平日は 仕事優先
  - 休日は 社外活動優先
  - 家族の理解を得る努力。  
たとえ短時間でも家族が楽しめるよう感謝と奉仕の気持ちで接する。
- 
- 自分で自由に使える資源（時間やお金）の中から社外活動にどれだけ資源投入する必要があるか（目的達成ありきで逆算）を考え、プライベート時間は一部犠牲にする覚悟で計画し取り組む。

## 良かった点

- 仕事だけでは得がたいビジネススキルやPMノウハウを学べた。
  - 経験した者にしか判らない「経験知」を共有させて頂けた。
  - ディスカッションを重ねたことで、議論が好き(得意)になった。
- 
- 仕事上の利害関係者ではない為、忌憚のない意見やアドバイスが得られ自分の長所・短所を知ることができた。
- 
- 異業種の方と知り合えた事で、通常経験できないことが体験できた。  
例) 造船所の進水式、スペースシャトルの調達PJCT、北海道サイクリング
- 
- 
- 
- 社外活動を通じて得た知恵やスキル・人脈を業務に還元し、仕事の質・効率を高められた。

## 社外活動を楽しむ為の心得

- 人生は短い！ 他者の経験・知見を最大限吸収し、自分のものとせよ。  
自分の経験だけに頼るのは限界があるので、他者の経験や教訓を自分なりに解釈し、吸収することで**自己の成長スピードを高める。**

- 常に相手の良い所を探し、謙虚な姿勢で接すること。  
遠慮なく言い合える人間関係構築が重要。相手の存在や経験・スキルを認め敬意感謝する中で、相手から何を学ぶべきかが見えてくる。

- 最大の投資先は自分自身。  
社外活動はお金も時間も掛かるが、**将来への自己投資**と考え、人との**出会いや成長を実感する中に喜びを見出す。**